



天河神社の拝殿 天川村坪内で



(住所) 天川村坪内107
 (主祭神) 市杵島姫命
 (交通) 近鉄下市口駅から奈良交通バ
 ス約1時間、「天河大弁財天」
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 無料、約30台
 (電話) 0747・63・0558

天河神社 (天川村)

天河神社は天川村坪内の琵琶山に鎮まっています。神社入り口の社号標は「大峯本宮天河大弁財天社」です。鳥居をくぐって太鼓橋を渡り石段を登ると右手に神楽殿(能舞台)、左手に拝殿、拝殿の奥に本殿があります。



主祭神の市杵島姫命は弁財天と同一神で、弁財天は弁財天女とも称し、水の神、音楽、芸術、

財宝の神として信仰を集めています。日本三大弁財天としても有名です。本殿に祭られている八臂弁財天像は毎年7月の例大祭で開帳されます。本殿右扉の中に安置されている日輪弁財天像は60年に1度だけ開帳され、

次は2041年です。能舞台では能楽やアーティストの演奏などが奉納されます。芸能芸術の神として早くから崇敬されており、1430(永享2)年には、観世三代の嫡男、十郎元雅が能「唐船」を奉納し、能面「阿古父尉」を寄進しました。

尉の面で、能楽の創始者で父の世阿弥も使用たとされます。他にも室町から江戸初期にかけての能面や能装束、狂言装束、小道具、能楽関係文書が多数保存されており、文化的価値の高いものばかりです。これは、天河神社が能楽の発祥の頃より深く関わり、芸能の守り本尊であることの証しといえます。(奈良まほろばソムリエの会員 奥田八尋)

三大弁財天 能楽に深い縁

(住所) 天川村坪内107
 (主祭神) 市杵島姫命
 (交通) 近鉄下市口駅から奈良交通バス約1時間、「天河大弁財天」
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 無料、約30台
 (電話) 0747・63・0558